

令和7年度学校評価の結果について

1 評価方法、評価分野と評価尺度

- ① 令和7年9月27日(金)～10月28日(金)にかけてアンケート調査の実施
- ② 評価方法:アンケート調査
- ・職員 61名/61名 (100%)
 - ・保護者 94名/94世帯(100%)
 - ・あすなろ 21名/21名 (100%)
 - ・児童・生徒 103名/111名(93%)
- ③評価分野(5分野):「学校経営」「教育活動」「組織運営」「教育環境」「開かれた学校」
- ④評価尺度 4:十分達成できている 3:概ね達成している
2:どちらかという達成できていない 1:ほとんど達成できていない

2 令和7年度学校評価 自己評価、保護者・施設職員アンケートによる結果と考察

(1)集計結果

項目	職員		保護者		施設職員	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
R7 学校経営	3.4	3.6	—	—	—	—
3.6 教育活動	3.4	3.5	3.7	3.7	3.5	3.5
3.4 組織運営	3.4	3.4	—	—	—	—
3.5 教育環境	3.4	3.4	3.7	3.7	3.6	3.5
3.6 開かれた学校	3.4	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6
3.5						

(2)検討事項

○全項目及び特記事項の中から、次の基準に照らし、検討事項を絞り込んだ。

【基準】

- ① 前年度より、平均ポイントが0.5以上、低下しているもの
- ② 平均ポイントが、2.9以下のもの
- ③ 評価2以下が6人以上のもの
- ④ 特記事項に記載があったもののうち、早急に対応する必要があるもの

○検討事項は次のとおり。

基準の③は評価で2が6個以上ついたもの、④は自由記述欄の記載事項

検討事項	基準	関係部等	対策
●一つだけ気になることとして先生方の児童の呼称が気になる。	④	教頭 部主事	児童生徒を呼ぶときには、「〇〇さん」「〇〇君」と呼ぶようにする。発達段階を考慮して、「〇〇ちゃん」や愛称、呼び捨てで呼ばないことを部会等で徹底した。
●昨年度、重度児が登校した際にあまり歓迎されていない雰囲気を感じていた。ご苦勞が多いのは承知しているが、表情や態度に敏感な児童もいるので気を付けていただきたい。	④	教頭 部主事	児童生徒が登校してもらえることに、「感謝」と「喜び」をもって接する。 受け取る側によって、様々な解釈をされることがあるので、そのように感じさせることのないように丁寧な対応を心掛けていくよう、部内で共通理解を図った。
●送迎の際一人一人の様子を伝えて頂き助かるが、不穏になった際は、手伝っていただけるとありがたい。	④	教頭 部主事	下校時、玄関で保護者、関係機関職員に児童を引き継いだ時点で、保護者、関係機関の管理下になるが、児童の安全を最優先とし、危険がある場合は、保護者、関係機関と一緒に対応する。 遠慮している部分もあったので、園の意向も聞きながら、今後は必要に応じて対応していく。

<p>●学校は、課題に基づいた全校研究テーマを設定し、計画的に校内研究に取り組んでいる。</p>	<p>③</p>	<p>研究</p>	<p>(1)年間計画やスケジュールの情報を全体研究会で資料を配布して1度説明しているが、各部での研究会でより具体的にスケジュールを提示して説明をする。 (2)研究会について、年間行事予定で時間を確保しているが、行事等と重なるなど実施が難しい月がある場合は、教務部と連携し、確実に実施ができるよう日程調整に努める。また、研究を行う際に進め役となる先生方とも研究部と打ち合わせをする時間を設定し、共通理解を図っていく。 (3)研究部や自立活動部で次年度の研究のねらいや重点項目等を検討し、今年度よりも具体的に資料を作成し、それをもとに各部で共通理解を図る。</p>
<p>●最近、理事会を通して学年を超えて保護者同士の交流が増え、皆さんそれぞれ困り事があるのを感じた。学部懇談会でもっと保護者同士の交流ができたらいと思う。</p>	<p>④</p>	<p>部主事</p>	<p>学部懇談会は、学校と保護者との意見交換、情報交換の場であることを理解していただくとともに、一方で保護者同士の交流の場を増やす取り組みを考える。 今年度1月実施予定の「PTA ほっとできる交流会」を来年度は9月や10月に前倒ししての実施も検討する。また、PTAの行事についても保護者の意見を参考にしながら見直しも検討していく。</p>
<p>●教材教具の充実をお願いしたい。</p>	<p>④</p>	<p>情報</p>	<p>今年度中に先生方にアンケートを取り、必要な教材教具を明確にし、必要に応じて購入する。</p>
<p>●教育課程が重度の生徒に合っていない気がする。教科の指導が主になってきているのは承知しているが、難しさを感じている。</p>	<p>④</p>	<p>教務</p>	<p>具体的にどのような難しさがあるのか先生方に意見を聞いたうえで、検討していきたい。重度の生徒の学習グループは、作業や教科の学習が進めにくい場合もあるのではないかと。教育課程の内容が大まかな内容になっているところがある。教育課程作成時に内容を具体的に記入できるように現在高等部で検討している。</p>
<p>●個別の指導計画や自立活動の目標設定、検討会を実施する期間を短縮日課にさせていただいたのはとてもありがたい。今後も、この期間をさらに有効活用できるかを考えて取り組んでいければと思う。</p>	<p>④</p>	<p>教務</p>	<p>短縮日課については、先生方にアンケートをとり、令和8年度の年間行事予定に入れている。 (1)運動会・体育大会の予備日が入っていない週に設定する。 (2)短縮日課中は会議を設定しない。</p>
<p>●校務分掌の業務量に差が大きいので、バランスを取ってほしい。</p>	<p>④</p>	<p>教頭 部主事</p>	<p>業務量によって、各分掌部で人員を割り振っている。具体的に何の業務にどれだけの時間や人員が割かれているのかを示していただき、人数なのか、業務そのものなのか必要に応じて前向きに検討したい。</p>
<p>●適材適所での人事の配置を考えてほしい。</p>	<p>④</p>	<p>教頭 部主事</p>	<p>本来、一人一人が力を発揮できるように配置を考えている。その中で、一人一人の個性を理解し、組織として補い合いながら業務を進める必要があると考える。分掌部や行事の運営など普段からのコミュニケーションを大切に、同僚性や協働性を発揮しながら業務に努めていきたい。</p>

●生徒の数に対しての教員の数の配置を来年度考えなおしてほしい。人員が足りない。	④	教頭 部主事	学部会で来年度の児童生徒数、学級数の見込みを知らせている。教員数や配置について要望や意見があれば、部主事に知らせるように伝えた。 教職員の定数は法律で決まっているので、その人数の中で配置している。児童生徒数や児童生徒の実態等を配慮して配置を考えていきたい。
●校内に手すりを取り付けてほしい。	④	事務	必要な個所がないか職員で確認し検討する。
●高等部にも給食を作ってほしい。	④	事務	他校でも同じ意見があり、県の方でも把握し、検討を行っている。
●生徒が安定して学習に参加できるように適切な場所にエアコンの設置をお願いしたい。	④	事務	必要な個所については把握しているが、一度に設置することは難しく、毎年1か所ずつ予算要求して設置していきたい。(令和6年度:美術室 令和7年度:作業室)
●教室以外で、クールダウンや着替え、授業等で使える部屋が少なすぎるので、今後生徒が増えていくことも考えると、増築などが必要なのではないかと思われる。	④	事務	部屋数が少ないことについては、県も把握し状況は伝わっている。本校より状況が厳しい学校から優先的に対応していただいている状況である。引き続き県への報告は行っていくので、しばらくは工夫しながら使用してほしい。
●事務の予算を最初からある程度分配してほしい。	④	事務	学校の予算は部ごとに分けられているわけではなく全体に令達されている。限られた予算の中で、必要性、有効性を考慮しつつ運用していく必要があり、引き続き節約にご協力いただき、予算を有効活用していきたい。 購入希望については、各部等で相談したうえで事務室まで相談してほしい。 備品購入希望調査の際に、消耗品で高額となるもの(数が多い、1点3万円以上)についても希望を募るので、ぜひその機会も利用してほしい。
●教育活動(授業)に必要な予算が不足していると感じる。	④	事務	教育活動で使用する物を必要性、有効性等を考慮し優先的に購入できるよう、日頃から節約をお願いする。予算は限られているので、引き続きご協力をお願いしたい。
●最近マダニなどニュースでよく聞くので、中庭の草が気になる。	④	事務	業者による除草作業の回数を増やして対応している。
●教職員の写真付きの自己紹介等の配布物が新学期時あるとよい。	④	あり	

○学校評価アンケート結果から、改善が必要な項目及び職員や保護者の意見を基に、各部及び分掌部で改善策を検討した。概ね改善が見られているが、改善を実践する期間が短かったため、今後も継続して取り組んでいく必要がある。次年度に生かしていけるように、早い段階から改善に向けた取組を行っていく。

○本校の取組を、HP を使い、校内外へ発信する。